

令和3年9月長浜市教育委員会定例会 会議録

I. 開催事項

1. 開催日時

令和3年9月30日（木） 午後1時30分～午後2時45分

2. 開催場所

教育委員会室（長浜市八幡東町632番地 長浜市役所5階）

3. 出席者

教育長	板山 英信
委員	美濃部俊裕（教育長職務代理者）
委員	廣田 光前
委員	宮本 麻里
委員	中村 亜紀
委員	松宮 誠也

4. 欠席者

なし

5. 出席事務局職員

教育部長	酒井猛文
次長	鵜飼康治
次長	清水伊佐雄
教育総務課長	服部稔
教育改革推進室長	中北隆尚
教育指導課長	笥敏弘
すこやか教育推進課長	宮本安信
幼児課長	中島尚子
教育センター所長	織田恭淳
教育総務課副参事	西川洋輔
教育総務課主事	伊賀並樹輝

6. 傍聴者

なし

II. 会議次第

1. 開 会

2. 議 事

日程第 1 会議録署名委員指名

日程第 2 会議録の承認

日程第 3 教育長の報告

日程第 4 議案審議

日程第 5 協議・報告事項

(1) 長浜市立学校修学旅行費補助金交付要綱の制定について

(2) 令和 3 年度教育委員会事務評価委員会委員の委嘱について

(3) 令和 3 年長浜市議会 9 月定例会一般質問答弁要旨について

日程第 6 その他

3. 閉 会

Ⅲ. 議事の概要

1. 開 会

教育長から開会宣言があった。

2. 会議録署名委員指名

宮本委員、中村委員

3. 会議録の承認

8 月定例会

特に指摘事項はなく、8 月定例会の会議録は承認された。

4. 教育長の報告

教育長：今年度の全国学力・学習状況調査は、5 月 27 日に実施され、市内の小学校 6 年生、義務教育学校 6 年生及び中学校 3 年生、義務教育学校 9 年生が受験しました。病気等で欠席の児童・生徒以外は全員受験しております。

8 月の終わりに文部科学省がこの結果を公表したことを受け、先日、長浜市の状況を報道機関等に公表しました。正答率の数値だけでは状況がわかりませんと思いますので、私から簡単に補足させていただきます。長浜市では、3、4 年前ほどから、この調査を用いて測れる学力を高めるため、さまざまな取組を実施しております。その結果もあり、昨年度までは全国平均との差が縮まりつつあるという状況でございました。今年度の結果としては、小学校は国語、算数ともに全国平均との差が開いてしまいました。中学校に関しては、国語についてはほぼ全国平均レベルに近づきつつあり、数学については、若干ではございますが全国平均を上回るという結果でした。

各校の児童・生徒ごとの個別の評価が出されております。各校で調査の結果を分析しているところです。この全国学力・学習状況調査の詳細な結果や今後

の方針については、後日、教育センターから説明をさせていただきます。

私は、この調査の結果から平均という物差しは非常に怖いと感じました。市内の数学の結果が全国平均を上回ったと聞くと、数学の力が伸びたと捉えてしまう面があります。しかし、各校別に見てみると伸びた学校もあれば、逆に差が開いた学校もあると思います。さらに、一つの学校の結果の中にも、勉強が得意な子が伸びて学校全体の成績が伸びているのか、苦手な子が伸びたのかといったように、一概に判断することができないと思います。このようなことを踏まえ、来年度からは、教育行政施策を焦点化して取り組みたいと考えております。

今年の小学校の国語の問題は全 14 問ありましたが、漢字の書き取り問題はうち 3 問でした。仮にこの 3 問の正答率が低かったとして、確かにこの 3 問は書けなかったものの、だからといって長浜市の子どもたちは漢字を書く力が弱いと決めつけることはできないと思います。しっかりと子どもたちの課題を捉え、その子に合った対策を講じるために、客観的根拠に基づいた教育行政施策を立案していく必要があると考えております。このことにも十分留意しながら、来年度も引き続いて取組に力を入れていきたいと思っております。

2 つ目の新型コロナの状況ですが、全国的に緊急事態宣言が解除になりますが、依然として市内の校園では数は多くはないものの、感染者が出ている状況です。9 月は緊急事態宣言が発出されたということで、運動会や修学旅行といった学校行事はすべて延期しております。校園外に出かけるような活動も自粛し、可能な限り先に延ばしていただくという対応を取っております。また、中学校については、9 月中は部活動も休止しており、例年 9 月中旬にある滋賀県中学校秋季総合体育大会についても、県の本部が中止という判断をしております。

10 月から緊急事態宣言が解除になることを受け、感染対策に十分配慮をした上で実施できればと考えております。現場の先生が、「不安がないわけではないが、不安がなくなるのを待っていたらいつまでもできない。子どもたちの健康観察、健康管理に十分事前に注意しながら保護者の方にもご理解いただいて実施したい」と話されていました。なんとか子どもたちのために実施できればと考えております。

緊急事態宣言は解除になりますが、気を緩めることなく、職員室の分散や消毒、そしてリスクが高まるとされるような学習活動はなるべく避けるようお願いしているところでございます。

松宮委員：ワクチン接種の対象に小中学生が含まれるかと思いますが、ワクチンの接種が進んだ場合、学校での対応は変わるのでしょうか。

清水次長：ワクチンの接種については、保護者の意思に基づいて行うものであるため、学校から接種の有無について調査することはできない状況です。また、ワクチンを接種したくてもできない事情もあるかと思っておりますので、学校がこの

子が受けた、受けていないということを把握するのではなく、全員が感染予防をして安全な形で同じ授業、行事を行うということが現実でございます。

廣田委員：他県の中学校において、ワクチンの接種状況を担任の先生が調査し、問題になったと思います。小さい子どもは重症化が少ないということから、ワクチンの接種が進んでいる諸外国であっても、小さな子どもへのワクチンの接種はそれほど積極的ではない状況です。

教育長：これからは、ワクチンを接種している子どもたちが増えてくると思います。しかし、ワクチンを接種すれば、感染しないということではないため、廣田委員をはじめ専門家の先生方にご指導いただくとともに、国の動向を注視し、冬に向けて考えていきたいです。

5. 議案審議

審議案件なし

6. 協議・報告事項

(1) 長浜市立学校修学旅行費補助金交付要綱の制定について

教育長は事務局に説明を求め、すこやか教育推進課長から資料に基づき説明があった。

主な質疑応答は以下のとおり

教育長：キャンセル料の一部を補助するということですか。

すこやか教育推進課長：はい。

教育長：4月1日まで遡って補助を行うということですか。

すこやか教育推進課長：はい。今年度の修学旅行すべてが対象となります。

美濃部委員：すでにキャンセル料の生じた学校があると思いますが、その支払いはどのようになっていますか。

すこやか教育推進課長：すでにキャンセルの費用が出ている学校については、保護者の積立て等から学校にて支払っている状況です。

教育長：修学旅行についてですが、10月を予定している学校が多いです。行先については、小学校の場合には奈良を中心に、中学校はいろいろな場所に分散するようにしています。

(2) 令和3年度教育委員会事務評価委員会委員の委嘱について

教育長は事務局に説明を求め、教育総務課長から資料に基づき説明があった。

(3) 令和3年長浜市議会9月定例会一般質問答弁要旨について

主な質疑応答は以下のとおり

教育長：答弁要旨について、私から補足させていただきます。9月長浜市議会定例会は議会の意向により、会派代表質問のみの形となりました。そのため、そ

れぞれの会派の代表の方が質問されています。

7. その他

中村委員：先日の宮口先生のオンライン講演会に参加させていただきました。一つの図形を見たときに図形の形を正しく認識できない子どもがいるという話があり、大変驚きました。形を正しく認識できないということは、学校で黒板の漢字を書けと言われても書けないと思います。このような認知の差があるということをはじめて知ることができ、大変勉強になりました。

教育長：私も含め教員は、授業しながら「わかりましたか」と問いかけることがあります。しかし、それは一体誰に対して何を確認していたのかと反省しました。最近ではさまざまな分野の研究が進んでおり、それらを活用していかなければ今の時代には対応していけないと思います。

廣田委員：コロナの関係でどこも行けず、心の病気になってしまう人がいます。心の病気にならないように、心を落ち着けることが大切です。私は、夜に星空を見たり、写真を撮るようにしています。

教育長：庁舎の廊下にも廣田委員からお借りした星座の写真を並べており、来庁者の方の心を和らげています。

廣田委員：星座の写真はすべて市内で撮影したものです。皆さまもストレスを溜めないようにしてください。

美濃部委員：ストレスに関連してですが、初任者の先生について、参集しての研修が難しいため、不安を抱えていないか心配です。私が勤めていたころは、先輩の見よう見まねで進んでいきましたが、今は1年目から初任者研修を受けると思います。

また、中学校では部活動があるかと思います。生徒の中には部活動を楽しみに学校に来ている子どもがいると思いますので、そういった生徒へのフォローも考える必要があるのではないかと思います。先生の中にも部活動の指導にやりがいを持っていたり、体を動かすことでストレスの解消になっている先生もいるかと思います。

今は、社会の中ができないことだらけで鬱憤が溜まっているのではないかと思います。幸い10月からは、行事や部活動が始まりますので、教育委員会の皆さま、そして校園の先生や子どもたちへのフォローをしていただければと思っています。

教育長：初任者の様子や研修の状況、児童生徒のストレスについて説明してください。

教育指導課長：まず、初任者研修について、本来ですと野洲市にあります滋賀県総合教育センターに行き、対面の研修を受けています。今年度はオンラインでの研修という形になっております。

私も初任者研修を受けた一人ですが、研修で学ぶことはもちろんのこと、学

校では話せない悩み等を同じ年代の教員同士で話し合うことでストレスを解消できていたと思います。それができないため、先ほど美濃部委員がおっしゃったように若手職員へのフォローが必要ということにつながるのかと思います。

また、長浜の学校に通勤されている大津や京都といった遠方の先生方は、通勤途中にどこにも立ち寄ることができません。一人暮らしの先生方は、家に帰ったら一人きりになるという状況です。今まででしたら学校ごとなどで食事に行くことでストレスが発散できたと思いますが、そういったこともできず、校長先生は若手の先生方を心配されています。

運動がなければストレスが溜まる子も多くいると思います。しばらく体を動かしていない子どもが多いため、部活動の再開後は、けがにつながらないように、各中学校と順序を立ててやっていきたいと考えております。

教育長：幼児教育職の初任者の状況について説明してください。

幼児課長：幼児教育職の初任者につきましても、以前に比べると研修の機会が少なくなっていますが、教育指導課長の説明にあったようにオンラインでの研修や感染防止対策を取った上で少人数での研修を実施しております。

しかし、同期の職員がいないという園もあり、なかなか同年代と顔を合わせる機会がない状況です。

採用から半年たち、園長先生から初任者の評価をいただきましたが、頑張っているということで高評価になっており、その点では安心をしているところで

宮本委員：コロナによって学校がお休みになると、働いている保護者も休まなければならないと思います。当たり前ですが急に決まることのため、明日から今週いっぱい仕事に来られませんかという人が続発しています。

在宅勤務できる環境を整えたとしても、家で子どもの面倒をみながら、パソコンを見て集中して仕事するということは難しいと思います。外に出歩けずエネルギーを持て余している子どもと過ごすため、保護者の方は非常に疲弊されています。

ワクチンについて、高校生の子どもがいる保護者は、接種するかどうかを悩まれています。副反応について、いろいろな情報があり過ぎて、家族の中でも意見が分かれているということも聞きました。正解がないことのため、判断がとても難しいと思います。保護者の方を混乱させないためにも、さきほどお話しされたように、誰が打っているかを調査しないということは大切だと思います。

松宮委員：大阪で3歳の子が熱湯を浴びせられて亡くなってしまった事件がありました。市に対して相談しており、知り合いの人からの注意も受けていたにも関わらず、行政側の対応としては一回本人に注意し、電話で確認したのみであり、対応が不十分であったと取り上げられています。市内においても同様な相談を受けることはあるのでしょうか。

清水次長：市内の子どもたちの数は1万を超えており、それぞれご家庭の事情があるため、当然相談や通報というものはございます。また、学校職員、園職員は通報しなければならないという義務がありますので、子どもたちにあざがあった場合など虐待等の疑いがあれば通報します。子育て支援課や彦根子ども家庭相談センターと連携をしながら、一時保護するのかどうするのかといったことをケース会議という形で会議を重ねて判断をしております。決して放置しておくのではなく、継続的な観察をしながら、または一時保護をするということとで日々対応しているところでございます。

松宮委員：先ほど中村委員が宮口先生の話をしていましたが、虐待をしてしまう人は見えているものが違うということもあると思いました。虐待がなくなることが一番ですが、改善するには時間がかかるため、期待するばかりでは危険であると感じました。

全国学力・学習状況調査についてですが、可能であれば、前回の結果を受けて考えられていた対応とそれに対する現時点での評価を教えていただけると、比較しやすくなるかと思っておりますので、お願いしたいと思っております。

廣田委員：宮本委員が話されたワクチンについて、副反応は確かにあります。ただ副反応としては100万人単位で0.0何%といった頻度です。しかし、自分に何かあったら怖いと考えてしまい、接種しないと判断する人もいます。

ただ、私自身は打つべきだと考えています。接種することで重症化しないため、自分のため家族のために打つべきだと思います。

教育長：10月29日に余呉小中学校にて全国の小中一貫教育校が発表大会をする「小中一貫教育全国サミット」を予定しております。午前中に子どもたちの取組を発表する場もありますので、出席を希望される方はお声がけください。次回の定例会のときに詳しい案内等はお渡しできるかと思っております。

8. 閉会

教育長から閉会宣言があった。